

令和元年度ふじみん号運行の評価・検証

【本格運行の目標（評価基準）】

○1 年間の公費負担率(※1)：公費負担率が85%未満(※2)⇒75.3%

※1 公費負担率＝（運行経費－運賃収入等）÷運行経費（初期導入費を含まない経常経費）×100

※2 市民アンケート調査等を基に試算した結果

○1 便当たり平均利用者数：2.7人 ⇒ 5.15人

※日平均利用者数135人÷49便（4ルート合計）＝2.76人/便

1 コース別月別利用者数（総括）

○令和元年度延利用者数は92,775人となり、前年度の86,101人を超え、対前年比107.8%となっている。

○1 便平均利用者数は5.15人となり目標の2.7人を達成しているが、各コース別に見ると、A・B・Cコース東原先回りコースで目標を達成しており、Cコース旭住宅先回り・Dコースで目標未達成となっている。

2 コース別ダイヤ別利用者数

○Aコースは各ダイヤとも万遍なく利用され、8人/便以上と多くなっている。

○Bコースは新駒林先回りが水宮先回りと比べ利用が多くなっている。

○Cコースは午前中の利用は多く、午後は比較的少なくなっている。

○Dコースは目標未達成であるが、前年と比べモニタリング便の利用者が増えている。

○モニタリング便は5便全て、一便当たり平均1.09人と低い利用率となっている。